

第3回呉市都市計画マスタープラン検討委員会 摘録

- 1 日 時 令和4年8月25日（木）15時～17時
- 2 場 所 呉市役所本庁舎 防災会議室
- 3 概要・骨子

13:00

【江田副市長挨拶】

構成員の皆さまにおかれましては、ご多忙のところお集まりいただき誠にありがとうございます。

昨年の9月、本年5月、そして今回が3回目の検討委員会となりますが、これまでは主に都市計画マスタープラン全体構想について意見交換をいただきました。その全体構想については、構成員の皆さまのご意見を反映させた素案を整理し、パブリックコメントを行いましたので、本日はその結果の報告をさせていただきます。

また、地域別構想（素案）をとりまとめていますので、全体構想と地域別構想について、一括してご意見をいただきたいと思います。

限られた時間ではございますがどうぞよろしくお願いいたします。

13:05

【議事1及び2】

議事1「呉市都市計画マスタープラン全体構想（素案）に対する意見募集の結果について（報告）」及び議事2「呉市都市計画マスタープラン地域別構想（素案）について」事務局から説明

議事1：資料2-1, 2-2

議事2：資料3-1, 3-2

13:45

【質疑・意見交換】

構成員からの主な意見は次のとおり

- 全体構想でスマートシティの取組について掲げられている中で、地域別構想への記載が足りないと感じた。しかし、スマートシティの取組については、非常に動きが速く、試行錯誤しながら取り組む傾向が強いため、具体的な取組として地域別構想に施策などへの反映が難しいと思われる。そのため、資料3-1の地域別構想（素案）の末尾にある第5章の都市づくりの推進方策に、今後の取組の進め方を示すものとして記載を検討してはどうか。
- 空き家バンクの取組について、入居者に関する情報不足から、空き家の所有者が入居募集をためらうことがあると聞いている。他都市では民間事業者が、活用を希望する人や活用の想いなどを集めたデータベースを基に、借り手と所有者とをマッチングするような「さかさま不動産」という取組がされている。こういった最新の取組を参考にすること、また、新たな取組を大きく始めるのではなく、試行的に小さく始めることは重要であり、計画に絶対的に実施する内容のみを記述するのではなく、これからの都市施策の中で、そういった試みのようなものを許容するようなスタンスが出せればよいと感じた。

⇒篠部座長

スマートシティの取組については、資料2-1全体構想（案）に「目標2 新技術の活用によるスマートシティの実現」として方向性を示しているが、地域別構想では反映しづらい内容でもあるため、ご提案のとおり、第5章の都市づくりの推進方策の中で取組について記載することがよいと思われるので事務局において記載について検討をお願いします。

二点目は空き家の取組の話であった。利用者側の思いを情報提供することで空き家の活用が進んでいく、そういった内容を本計画へ記載することは難しいが、幅広い対応をしていくということであると想う。事務局ではどう考えるか。

⇒事務局

空き家に関する内容としては、全体構想でも利活用などについて記載をしている。現在、呉市では空家等対策計画を改定しており、その参考とさせていただくとともに、空家等対策計画に基づき空き家の適正な管理に努めていきたい。

- 一点目の意見として、資料2-2意見公募の結果のうち、修正事項として説明のあった(4)「子育て施設」に関する意見であるが、以前から意見を述べているように、出生率を上昇させるような都市づくりはあり得ると考えている。出生率は、所得・時間・住まい・こころの四つ

のゆとりがプラスに働く。人々の生活動線上に子育て支援施設があれば、時間のゆとりにつながるため、商業・福祉などの機能と一緒に、拠点内に子育て支援機能を設けていく考えはとても大切なことである。修正案の「子育て」の追加には賛成であるが、「子育て」だけでは具体的な機能がイメージしづらいのではないかと思うため、保育所等の例示、若しくは、資料2-1全体構想(案)の36ページでは「子育て支援」となっているので「子育て支援」としてはどうか。

もう少し踏み込むと、大切なのは出生率に対する取組は、子育て支援に関する施設をどこにどう配置するかという議論だけではなく、まちづくり全体で受ける必要があるということである。実は、既に計画案にしっかりと記述されており、一つは市内産業の創出によって職住近接を通じた時間のゆとり、そして所得のゆとりを生むことである。特に時間のゆとりに関しては、職住近接の考えは出生率の上昇にとっても有効的であり、若者が働きたいと思う仕事が見つかるような多様性のある産業を市内にしっかりと確保することが重要である。また、もう一つは、職住一致を生み出すテレワーク環境やそれに伴って生活機能が居住地の近くへと分散されていくこと、そういったことに対応していくことが少子化対策、出生率の上昇に寄与するという意識を呉市でしっかりと持ち、都市づくり、まちづくりに取り組んでいけると良いと思う。

- 二点目として、呉らしい「ウォーカブル」について、前回会議の意見を踏まえ呉らしさの記述をしていただいている。ウォーカブルの条件は、歩行空間の快適さ、商業・飲食・文化・休息等に関わる機能が歩行可能な距離に点在していること、そして大切なことは、公共交通であると考えている。自動運転などが将来進む中で、自動車によってドアトゥドアで移動するとウォーカブルの余地が縮小する。取組に当たっては、公共交通を活用した施策などをしっかりと進めることを示すためにも、呉駅周辺地域の役割とそこから広がる呉ならではの魅力ある空間を生かした取組を併せて記載した方が良いと感じた。海外の交通計画の例として、例えばメルボルンではDXなどが進展しても健康づくりの観点でウォーカブルなまちづくりを進めることについて市民が合意をしている例もある。単に国が示す例に沿うだけでは、全国的にどこでも同じウォーカブルな都市ができてしまうと危惧しているが、呉市では公共交通のまちづくりとそれと一体となった呉の魅力的

な空間活用ということを芯に持つことで、呉市らしいウォーカブルなまちづくりに取り組んでいけるのではないかと思います。

⇒篠部座長

子育て支援施設について、駅などの生活動線上に確保していくことを考えながら取り組むことが重要である。また、呉市内での産業の確保やテレワークなどの新しい働き方に対応した環境整備を進め、働く場所と住む場所の近接・つながりについて意識した都市づくりを進めることが出生率の上昇につながるという話であった。

また、ウォーカブルについては、公共交通との関係を意識しながら進めていくことが重要であり、特に中央地域における交通ターミナルの役割などを踏まえながら記載を検討していただきたいという話であった。

修正の提案のあった内容については、事務局で記載の検討をお願いする。

- このマスタープランを実行する上であったらよいと思う取組についてお話しする。資料2-1全体構想(案)の22ページの「暮らしの中で不足するもの・充実を望む環境」についてのアンケート調査結果では、にぎわいを生み出す商業・娯楽施設の環境が第一位となっている。資料3-1地域別構想(素案)では、道路や公園におけるイベント活用などを想定したウォーカブルなまちづくりについて記載されており、にぎわいの創出は、新しい商業施設をつくることだけではなく、公園空間などを民間事業者が借り、イベントなどを開催することからも生まれるものであると思う。

その際、市民がイベントの開催などのために公園を借りる場合に、どのような手順・手続きで公園を借りたら良いか分からないこともあると思うので、手続きなどに関するマニュアルがあればよいと思う。また、イベントに関する広報について、現在はイベント開催者が単独で情報を発信し、その情報を欲しい人が様々な情報から探し出して受け取っている状況であるため、例えば、市がポータルサイトなどを作り、情報を総合的に提供することもよいのではないかと思います。

⇒篠部座長

市民が気軽に公共空間を使用できる仕組みを整えることがまちのにぎわいの創出をする上では重要であるといったご意見であった。頂いた意見はマスタープラン作成のみならず、今後の都市づくりの参考としていただきたい。

- 地域別構想の見せ方の工夫について、資料3-1の地域別構想（素案）81ページの④分野別の都市づくりの方針に基づく施策などについて、ア土地利用からオ都市環境に渡って各地域の施策などが黒の四角（■）で記載されている。この内容について、計画本編で一つ一つの地域を読み進めると地域間での違いが分かりにくいように思える。例えば、各地域の特徴がより明確になるように、中央地域から豊地域までの各地域の取組が一覧となった表の掲載を検討していただきたい。
- 二点目であるが、同じく資料3-1地域別構想（素案）の83ページにおいて、先ほどのアからオに記載された施策などが方針図に四角囲みで示されている。これらの表示は必要なものであると思うが、方針図を見たときに内容が分かりにくいいため、並びの順などを含め表現や見せ方について検討いただきたい。
- 三点目であるが、資料3-1地域別構想（素案）の96ページの吉浦地域のア土地利用に関して「住宅団地の保全」という記載があり、一方で同104ページの昭和地域のア土地利用に関して「住宅団地の保全と再生」と記載されている。この両地域でどのような違いがありこのような記載になるのか伺いたい。また、吉浦・昭和地域のみならず、市街地には住宅団地は点在しており、住宅団地に対する全市的な取組として再検討が必要ではないかと思う。
- 最後に、各地域のイ交通体系の整備の方針において、道路ネットワークに係る内容として、道路の整備や機能強化について記載されている。広島県の取組に係る内容は、県で策定している道路整備計画と整合を図られているものと思うが、資料3-1地域別構想（素案）

110ページの郷原地域については、例えば道路整備計画で記載されている交通安全事業が記載されていないなど、一部整合がとれていない箇所があるため、地域別構想の最終案の作成に向けて、再度確認・調整を行うようにしてほしい。

⇒篠部座長

一点目は、18の地域の施策や取組について、一覧として整理した表があれば、地域間での取組内容の特徴などがより分かりやすいという意見であった。また、二点目は、方針図中に示された施策・取組について、各地域の本文中の内容との結びつきも分かりにくいため、黒い四角（■）ではなく、例えば違う記号を用いるなどして、本文と方針図との対応が分かるような修正の検討をお願いしたい。この二件については事務局において検討をお願いする。

続いて、先に四点目のご意見は、県で作成されている道路整備計画との整合であるが、道路の整備や機能強化といった表現については、関連計画との整合を図りながら修正をお願いしたい。

最後に、三点目のご意見の住宅団地の保全、また、住宅団地の保全と再生について、その違いがどういったものか、また、全市的に取り組むものではないかのご提案であったが、事務局ではどう考えるか。

⇒事務局

昭和地域では、地域の全体に住宅団地が広がっており、昭和40年代に造成された住宅団地が多く、空き家が多く発生している状況を踏まえ「再生」として記載している。具体的には、空き家への入居や建替などの活用、また、住宅団地の居住者の利便増進に繋がる多目的利用を可能とするような土地利用の誘導などについて検討していくものと考えている。

しかしながら、ご意見のとおり住環境の保全や再生について全市的に取り組む内容であるものと考えられるため、再度検討したい。

- 資料3-1 地域別構想（素案）の分野別の都市づくりの方針に基づく施策などについて、例えば152ページの豊浜地域において、イ交通体系の整備に関して、「まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成」の中に「自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成」との記載がある。資料2-1の全体構想（案）では、56ページに交通体系の整備に関する内容として、自転車の通行空間についての記述

があるが、これは安全確保に関する内容にとどまっており、役割拡大とまでは読み取れないと感じた。本件に関する全体構想の位置付けを確認したい。

- もう一点は、地域説明会にあたってのお願いである。都市計画区域外との連携について、全体構想、地域別構想ともに多くの内容を記載していただき感謝している。少子高齢化・人口減少が進む中で、地域が豊かになるには都市部と農村部の調和のとれた発展が不可欠であり、両者が協力関係になければならないと考えている。新型コロナウイルス危機によって、生活のあり方が変化しており、都市と農村の区別についてはボーダレスになってきているのではないかと感じている。そういったことから、今後開催される地域説明会では、都市計画区域外となる島しょ部の地域においてもしっかりと意見を聞き取っていただきたい。

⇒篠部座長

二点目のご意見について、都市計画区域外の今後のまちづくりにおいては交流人口や関係人口の存在も必要であろうが、まずは、地域に住んでいる市民がどのように考えているのか、そこをしっかりと聞き取りをしてマスタープランへ生かして欲しいと思う。

一点目の「自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成」について全体構想との整合がどのようになっているか事務局から説明をお願いする。

⇒事務局

資料2-1全体構想（案）56ページの交通体系に関する内容のうち、道路に関する項目において、道路整備に合わせた自転車通行空間の確保について記載を、また、同71ページの都市環境に関する内容において、脱炭素に関連する取組として自転車を活用したまちづくりの検討について記載をしている。地域別構想においては、これらを踏まえた内容を「自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成」として記載をしている。

- 資料2-1全体構想(案)72ページや資料3-1地域別構想(素案)各地域における分野別の都市づくりの方針に基づく施策などのオ都市環境に関する内容について、景観づくりに関する記載がある。当事務所では、国道31号や185号、また、東広島・呉自動車道などの道路の管理をしているが、呉市の中でも場所によって景観が違うことから、その地域の景観に調和した道路景観をつくっていく必要があると考えている。具体的な取組は今後、呉市の担当部局と調整をしながら進めたいと考えているが、景観計画で定める誘導基準以外にも基準などがあればご教示願う。

⇒篠部座長

今後の景観の形成に向けた取組に関するご意見であり、誘導基準について記載以外のものがあるか事務局から回答をお願いします。

⇒事務局

基準は、景観計画で定める誘導基準のみとなっている。

- 資料2-2の意見募集の結果の(4)でも意見があったように、若い人が減っている中で、若い人が集まってくるような環境をつくってほしい。資料3-1地域別構想(素案)の84ページには、アーバンスポーツ施設の整備について記載があるが、例えば、去年オリンピックでも話題になったBMXやスケートボードなどが出来る場所があればいいと思う。呉駅の開発に関する民間事業者からの提案の中で、建物の中にアーバンスポーツ施設をつくるような内容があったと聞いたが、建物の中にこのような施設が出来れば騒音も気にならず、気軽に使用することが出来る場所となるのではないかと思った。
- もう一点、同じページに道路や公園空間の活用について記載があるが、昨年、福岡を訪れたときにおしゃれな屋台などが並んだクリスマスマーケットが開かれていた。こういった取組は多くの人を集め、にぎわいを生むものと思うので、今後、開発が進む呉駅前や川沿いにあ

る中央公園などにおいて同様の取組を呉市でも積極的にしてほしいと思う。

⇒篠部座長

アーバンスポーツ施設は、若い人から選ばれるという観点から、まちづくりにおいて重要であるというご意見であった。また、開発が進む呉駅前や川沿いに整備されている中央公園でどのようににぎわいを生んでいくか、先ほども話があったように、今あるものを活用した取組によって、にぎわいを生んでいくという重要な意見であった。

- 資料2-2の意見募集の結果(4)の内容や先ほど会議中の意見でもあったように、これからは子育て環境をしっかりと進めてもらいたいと考えている。呉駅の再開発では、子育て支援施設が建物内に整備されると聞いており、こういった施設はしっかりと確保して機能も強化してしてほしいと思う。また、自分が子育てすることを考えたときに、子育てと仕事を両立できるような暮らしやすい環境が大切だと思うので、各地域の取組に書かれている都市機能の誘導をしっかりと進めていただいて、その周りに人が住めるような環境づくりに力を入れて取り組んでいただきたい。
- もう一点、私は今大学生で、就職について色々考えているところで、こういった都市計画の話に関わらせていただく中で、呉市の良いところが見え、呉市内での就職も候補の一つとして考えるようになった。本日の議事の説明に、第5章の都市づくりの推進方策として、様々な制度を活用した取組を進めるとあったと思う。都市計画とは少し違う内容になるかもしれないが、市外から呉市に来ている学生を始めとしてもっと多くの人に呉市が進めている取組や呉市の良いところについて知ってもらうことも大切だと思った。

⇒篠部座長

発言の中で呉駅前の開発において子育て施設が整備されるという内容があったが、生活動線上の施設整備という呉市の中でも重要なものだと思う。

二点目のご意見は、とても前向きな発言で、今後の取組の参考としていただきたい。

- 都市計画マスタープランの作成によって、記載の内容が市民にどれだけ伝わるか不安に思っている。呉市としてこの計画を策定した以上、計画のこの部分は必ず成し遂げるといったことが伝わるようにできればよいと感じている。子育て問題などを最重要課題としている他都市の例もあるが、最重要目標という想いを持ってこれからの都市づくりに取り組んでいただきたいと感じた。

⇒篠部座長

都市計画マスタープランを実効性のあるものにしていくという中で、特に重きをおいて取り組むといった考えが必要ではないかというご意見であったが、事務局ではどのように考えているか。

⇒事務局

都市計画マスタープランは、将来を見据えた中長期的な都市計画の方針として位置付けており、4年前に策定した現行計画ではコンパクト＋ネットワークを位置付け、取り組みを始めたところである。現行計画の策定からの社会情勢の変化などを取り入れながらも、まずはこの「コンパクト＋ネットワーク」の都市構造の構築に向けしっかり取り組んでいきたいと考えている。

- 本日の資料を拝見しても、呉市の多くの地域が人口減少となっており、10年・20年後に向けて、その減少率をどう抑えていくかということが重要である。人が減ればこの計画の実現は、より一層難しくなると思う。呉駅周辺における開発事業の進捗、また、日本製鉄の土地利用がどのように呉市に寄与してくるか、この二点は特に大きな課題であると感じている。都市計画マスタープランは、長期を見据えた計画であり、これらに関して希望・願いが感じられる大きな方向性を位置付けできていればよいと感じている。それが取組に繋がり、結果として人口抑制に繋がる。
- もう一点、子育てしやすいまち、住みやすいまちは人口減少に歯止めが掛かるものと思われる。若い家族が呉市のそれぞれの地域を住む場所として選択するときには、教育環境がしっかりと確保されていること、生活利便性が高いまちであることが求められると思う。そういった中でも、土地価格が高いため、市外へ移り住むということもよく聞かれる。難しい問題であるとは思いますが、今後具体的な取組に当たって

は、そういったことにも市で解決策を考えていく必要性もあると感じる。

⇒篠部座長

人口減少時代の様々な問題や、呉駅周辺の開発の動きが重要な課題である。また、日本製鉄の跡地については、呉市の歴史を築き上げてきた場所で、これからの都市づくりにおいて貴重な財産であり、これから関係者と協力しながら多くの検討を重ねる必要がある。

子育てしやすいまちづくりについては、本日も多くご意見をいただいているように、今後具体的な取組として検討していかなければならないものである。

- 資料3-1の地域別構想（素案）の中央地域の都市づくりの方針のうち、P85にあるウォークブルなまちなかの形成の方針についてであるが、この「ウォークブル」は本日も関係のある話題が多く出たが、今後の都市づくりの一つのキーとなるものであると思う。素案の方針図では、南側には大和ミュージアム周辺や青山クラブ周辺が拠点性のあるゾーンとして描かれている。この南側に集積する地域資源を生かし、交流人口を北側へ回遊させていくことが、呉市が抱える課題の一つであると感じているが、方針図中の主要回遊軸や回遊軸といった軸の強化のみならず、北側を含む一帯のエリアとして、回遊を生んでいくようなイメージ図として表現が工夫できないかと思う。

- 資料3-1の地域別構想（素案）について、新たな視点をどのように反映させているのか、全体構想から地域別構想までの一貫した展開が判りやすくなればより効果的であると思う。資料2-1の全体構想（案）の4ページで掲げた改定計画の「基本的な考え方」には、「コンパクト＋ネットワーク」の都市構造の構築を目指すと記載されており、追記して考慮すべき社会情勢の変化として、「ICTを活用したまちづくり」「ポストコロナ時代のまちづくり」・「防災・減災、国土強靱化」・「多様性のある産業構造への転換」の四点を盛り込んだ計画として改定するとある。地域別構想においてもその四点がどのような施策として反映されているのか、この点を見える化できればより良いと感じた。意見の意図

としては、呉市内の地域の自治組織である28のまちづくり協議会が「地域のまちづくり計画」を策定される時に、今後10年間で地域の取組としてどのような将来像を設定し、そのためにどんな事業に取り組むべきなのか、地域における検討が難しいのではないかと感じた。

また、都市計画マスタープランは都市づくりの方向性を示すものであるため、その性格上やむを得ないと思うが、計画に位置付けられた取組がいつ、どのように取り組まれていくのか、今後、具体的な計画を示していく必要があると感じた。例えば資料3-2、18ページの蒲刈地域について、「地域協働、観光、農水産業施策などと連携した土地利用の誘導」などについてはどのような取組をいつ誰が行っていくか、記載された取組を地域とともに進めていくためには、住民への丁寧な情報提供が必要だと思う。地域説明会などにおいては改定の考えがどのようなもので、その考えに基づいて、各地域でどのようなことに取り組もうとしているのか、そういったことを丁寧に説明していただくようお願いする。

⇒篠部座長

国の示す運用方針を踏まえて、分野別の都市づくりの方針を示している関係もあり、全体構想から地域別構想までのストーリーについて分かりにくくなっている部分もあると思う。

また、地域住民側からこの計画を動かしていくためには、今後の具体的な取組について、住民への丁寧な情報提供が必要であるというご意見であった。本件については、地域別構想（素案）について地域説明会を行う中で、丁寧に情報提供しながら、頂いた意見をしっかりと吸い上げ、マスタープランとしてブラッシュアップを図って頂きたい。

16:55

【都市部長閉会挨拶】

本日はお忙しいところ、ご出席いただき、また、貴重なご意見を賜り感謝申し上げます。

本日の会議では、パブリックコメントの結果を踏まえた全体構想（案）と地域の内容にクローズアップした地域別構想（素案）をお示し

しました。この地域別構想（素案）を基に、市内18地域を訪問し、地域の方々のご意見を伺いながら検討を進めて参りたいと考えています。

次回は全体構想案と地域の意見を踏まえて作成する地域別構想の最終案を併せた都市計画マスタープラン（案）についてお示ししたいと考えていますので引き続きよろしくお願ひ申し上げます。本日はありがとうございました。

17:00

【閉会】